

やまのうち通信



迎春 第165号
令和3年1月20日

山内自治振興センター
庄原市山内町 813-4
Tel・FAX (0824) 74-0451
✉ yamanouchi.jichi@gmail.com

人の落ち度は
許すより忘れてしまえ
— 中村天風 —

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスで始まり、第3波のコロナ禍の最中に年を越えました。山内自治振興区の活動にも多大な影響を及ぼしました。その厳しい期間においても自治振興区では、各部門において関係者皆様が細心の配慮をしながら積極的な活動をいただきました。中でもおたがいさまネット事業や空き家対策事業では大変な努力をいただき、山内小学校の児童の増加も見られます。深く感謝し、御礼申し上げます。

間もなく新型コロナウイルスのワクチン接種が実施されそうです。麗かな春がきて以前のような活発な活動の出来るようになることを願っています。さらに安心、安全で活力のある地域づくりの課題に一つひとつ挑戦し頑張りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

本年が皆様にとりまして健康で明るい幸せな一年となりますようお祈り申し上げご挨拶とさせていただきます。



山内自治振興区長 市川基矩



門松は、副区長の百間さんと事務局長の実安さんの手作りです。とても立派な門松でした。ありがとうございました！



本年もよろしく願いいたします。
事務局一同

おたがいさまネット



コロナ禍の中で迎えた2021年は、年初からこれまでの生活習慣や行事がことごとく様変わりしたのになりました。毎年多くの方が詰めかける各地の初詣は分散化が図られ、成人式が中止や延期になった所も多くなりました。新年会のような飲食を伴う集まりは自粛傾向が続いています。

人が集まり、会話したり歌ったりする事が感染を拡げることになるため、サロンや行事の開催には慎重にならざるを得ません。冬のこの時期、高齢者にとっては屋外に出ることが少なくなり、更に感染を警戒して外出を控えることが、地域においてますますお互いの姿を見えにくくしています。

コロナ災害ともいえるこの状況下で、「おたがいさまネット」で取り組んでいる「一人暮らし高齢者等の見守り」はこれまで以上に大切な活動になっています。日頃のちょっとした「声掛け」や「気の掛け合い」が力になります。「おたがいさまネット」関係者の皆さまをはじめ、地域の皆さまのご理解・ご協力の程、よろしく願いいたします。



地域マネージャー 三上智道

おたがいさまネット一〇メモ 〈元気コール電話について〉



一人暮らし高齢者などが離れて暮らす家族などと交わす安否確認方法です。毎日決まった時間にワンプッシュ（短縮ダイヤル）で家族の携帯電話に電話して、呼び出し中に切ると料金は掛かりません。



受け取った人は履歴を見て変わらないことを確認できます。自治振興区にはこれに対応した無料で貸し出す電話機を在庫しています。設置希望の方は、自治振興センター（電話番号 74-0451）まで連絡してください。



明けましておめでとうございます。昨年は新型コロナの影響で大変な年でしたが、あらためて人と人とのつながりや、何気ない日常の生活がとても大切である事を考えさせられる年でもありました。

みなさんは、新しい年をどんな年にしたいと思われていますか。新しい年の目標を決められた方もおられるのではないかと思います。

さて、みなさん、介護保険でデイサービスや訪問介護などのサービスを利用する際にも「(自分の)目標」を決めることをご存じでしょうか。

介護サービスを利用する時は、介護支援専門員(ケアマネジャー)がご利用者、ご家族のご意向や困り事を伺い、これらを達成、解決するための、サービス計画書(ケアプラン)と「(暮らしの中の)目標」を提案させていただきます。

目標というと負担を感じる方もおられるかもしれませんが、難しいものではありません。サービス計画書の目標とは、これからの暮らしの中の「道しるべ」と言えるもので、ご本人やご家族を中心に決められ、介護の関係者が全員で確認をさせていただく大切なものです。

具体的には、「友人宅を訪問できるようになる」という目標を目指すために、当面は「30分間椅子に座ることができる」「1日1回階段を昇降できる」という身近な目標も組み合わせることもあります。

ご本人、ご家族も、介護サービスの関係者もみんな目標の達成に向かって取り組みます。できないことをお手伝いするだけでなく、目標に向かっていっしょに頑張るのが介護サービスの大切な役割です。

一人で心に決める目標もよいのですが、言葉にしたり、文字にしたりするからこそ、目標は力を増すと言われます。「目標の見える化」ですね。

新しい年を迎えました。今年一年を充実したものにできるよう、今年の目標を考えてみるのもよいタイミングと思います。

今年の目標!



相扶の郷居宅介護支援事業所 介護支援専門員 吉川 美法

第18回 手仕事

里山の千支展

里山の朝は、人間様のおまんまより
牛の朝草刈りから始まる

角は鎌かき、耳は鋤簾
しっぽは下草刈りの
鎌、体は現代の草刈り機の歯から
生まれた牛です。

里山の素材から
生まれた県内外の作家さんの
牛・うし・丑が二千頭 大集合

12月17日(木) ~ 1月31日(日)

8:30~17:00 (最終日は13時まで)

食彩館 しょばら ゆめさくら

広島県庄原市新庄町291-1 TEL 0824-75-4411

定住促進プロジェクト(空き家活用)だより

昨年中は様々な情報や活動へ参加していただき、ありがとうございました。今年もよろしくお願いいたします。

【空き家対策】

昨年末、6人家族の御一家が山内の空き家探訪にいられました。春には5人目の赤ちゃんが誕生されます。まだ移住は決定していませんが、小学校統廃合問題に揺れるこの地ですが、山内の環境や子どもたちの学校の様子にあこがれて見学においでくださいました。そのような方々が増えて来ているのも事実です。

今年も皆様からいただいた空き家情報から、片付けのごおさせいただき、地域の学びの火を絶やさぬよう子どもたちの笑いの絶えない町づくりに全力投球いたします。皆様からの空き家情報・移住検討情報等をお待ちしております。



【山内青空博物館】

皆様から様々な植物や生き物の持ち込みをいただきました。生きたマムシ、バショウ、テカテカ輝く虫(タマムシ、センチコガネ、セイボウなど)、昆虫の標本箱、200才の頼杏平の柿のタネから生まれた柿の赤ちゃん、皇帝ダリア、決死の撤去オオスズメバチの巣、木の切り株の中にいた100匹のカブトムシの赤ちゃん!!。

今年も子どもたちに地域のお宝を届けませんか!! よろしくお願いたします。

地域マネージャー 藤田典久・寺西玉実

各自治会で防災マップ研修を行いました!!

自治振興区では令和2年度活動促進補助金で防災マップの作成し、9月に自治振興区内の全戸に配布を行いました。

各自治会ではそのマップを活用し、住民全員が自分の家の状況を把握し、災害が起きたとき自分はどうの対応をとるべきなのかを研修しました。



そのほかにも、自治会住民全員が避難したら避難場所が満杯になるため、どうしても避難しなければならない人、家にいたほうが安全な人とを分けたり、高齢者など要支援者の方を誰が避難所まで避難支援するのかなども検討しました。

また、危険箇所は年々新しいところが発見されるので、その都度防災マップに書き加え更新していくことも研修しました。

◆香典返し

おくりもの

11/12~1/13

高茂町 三上肇様(故 松枝様)
本郷町 土井理良様(故 テルミ様)
水越町 安部早苗様(故 正昭様)
殿垣内町 小玉博視様(故 君江様)



ご芳志ありがとうございました。ご趣旨を大切に地域の社会福祉増進及び地域振興の資金として、活用させていただきます。
山内地区社会福祉協議会

2月 予定

- 4日 男性料理教室
- 9日 ふれあい給食
- 16日 ふれあい給食
- 20日 自治会長会

新型コロナウイルス感染防止のため、状況により中止となる場合があります。



「とんどの投稿写真」です！



今年も無病息災を願って、
とんど行事が行われました！
地域の方々の親睦が深まりました！

●山王自治会

1月10日(日), 新型コロナ早期終息祈念・新会員歓迎のとんど焼きを21名の参加により行いました。



●表水越自治会

1月10日(日)に、大雪の中頑張って準備しました。



本郷町 深屋進さんのお米が 米コンクール国際大会で金賞を受賞しました！！



令和2年11月28日に静岡県で行われた「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」において、(協)庄原里山の夢ファーム 深屋進さんが金賞を受賞されました。

この大会は全国から約4,500点の出品があり、米コンクールの中では日本最大の大会です。

受賞した米は里山の夢ファームの特徴である竹粉堆肥を使った栽培方法で、品種は「にこまる」です。

深屋さんは、この大会で昨年に続いて2年連続の受賞、そのほかにも第10回「大阪府民のいっちゃんうまい米コンテスト」でも受賞されており、栽培の技術力が高く評価されています。

今後も(協)庄原里山の夢ファームの皆さんには、よりすばらしい庄原市のブランド米生産に励んでいただき、農家の皆さんの所得向上と、若者が定着できるような経営モデルを確立していただくよう期待しています。